

3. 第2回委員会資料目次および議事要旨

大滝ダム貯水池斜面再評価検討委員会

第2回 委員会資料

目 次

	頁
I. 貯水池斜面の再評価	1
1. 再評価方法	1
2. 白屋地区で得られた知見	2
3. 詳細調査候補地の抽出	3
II. 今後の調査方針	15
1. 今後の調査方針	15

大滝ダム貯水池斜面再評価討委員会

第2回委員会 議事要旨

日 時：平成17年 5月 26日（木） 10:00～12:00

場 所：新大阪シティプラザ 2階「草香（2）」

出席者：

委員長 千木良 雅弘（京都大学防災研究所）
委 員 吉松 弘行（日本地すべり学会副会長）
〃 平野 勇（独立行政法人土木研究所地質官）
〃 安田 成夫（国土交通省国土技術政策総合研究所ダム研究室長）
〃 藤澤 和範（独立行政法人土木研究所上席研究員（地すべり））

議事について：

I. 貯水池斜面の再評価について

最新の調査手法としてのレーザー地形図および地質平面図（ルートマップ付記）、既往調査資料をもとに、調査結果の説明がなされ、寺尾から人知までと井戸（左岸）が検討された。また、上記の最新の調査地形調査手法により、白屋地区での緩み地形（緩斜面上部の段差状地形）の特徴が新たな視点で確認された。そして、白屋地区での地形的特徴と地質的特徴を参考に、今後検討必要斜面として4斜面（寺尾、迫、白屋上流、井戸（左岸））が抽出された。抽出された調査対象斜面について、調査ボーリングの提案がなされ、承認された。

II. 今後の調査方針

- (1) 提案された調査方針に従って、早急に現地追加調査に着手する。
- (2) 調査ボーリング孔を利用して、計測機器（傾斜計、地下水位計）の設置によるモニタリング調査を実施する。
- (3) 貯水池の調査対象斜面の調査結果を、カルテとしてとりまとめる。
- (4) その他
現在調査中の地区については、次回6月下旬に現地検討会において検討することを確認した。